

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2025 第五弾！を実施しました。

2025年12月26日（金）16時30分から「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2025 第五弾！」を実施し、学部生 15名、教職員 4名の合計 19名の参加がありました。

今回は、聖母病院 総合診療科 南郷栄秀先生から「何か専門を取ってから総合診療へ行ったほうがいいと言われましたが、そうなんですか？～ダブルボードとか EBM とかってかつこいいですよね～」をテーマにご講演いただきました。

総合診療専門医や家庭医療専門医等の取得などキャリアパスの比較についてメリット・デメリットを提示していただき、総合診療医になるまでの指針を分かり易くお話しいただきました。

参加学生からは「総合診療の方に進むか、別の領域に進むか、悩んでいる最中なので、将来的のヒントになった」、「総合診療、家庭医療における EBM 実践に対する認識と視野が広がった」といった感想がありました。

講演後は、懇親会を開催し、意見交換や懇談を行い、盛況のうちに終了しました。



（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人 滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）